

目標

我々、いわき経済同友会会員は、企業経営者の異業種交流活動を通して、三つの目的を達成し、仲間の連帯を深め、地域経済の発展と活性化をはかり、夢と希望に満ちあふれた地域社会づくりをめざします。

SEA IWAKI

8月号／2017年8月1日発行

三つの目的

- 一つ 元気な会社をつくろう
- 二つ 元気な人財をつくろう
- 三つ 元気な経済圏をつくろう

7月19日(水)
18:30～

7月通常例会

会場 生涯学習プラザ
4階

演題 「シンギュラリティ!世の中は激変する」
講師 ソフトバンク(株)人事総務部CSR総括部総括部長
公益社団法人東日本復興支援財団事務局長

池田 昌人氏



〔講演内容〕

情報革命で人々を幸せに

■ソフトバンクグループの理念

ソフトバンクグループは経営理念に「情報革命で人々を幸せに」を掲げ、これまで人類が解決できなかったような多くの課題に果敢に挑み、社会全体に貢献する企業グループであり続けたいと思っています。

2015年には世界初となる、自分の感情を持ったパーソナルロボット「Pepper」を発売し、高齢者向けの福祉施設や幼稚園など、さまざまな分野で活躍しています。今後はさらに世界規模での技術開発が進められ、ロボットと人間が共生する社会はリアリティを増していき、人々のライフスタイルはより豊かで素晴らしい世界になっていくでしょう。

また、ソフトバンクグループは太陽光発電や風力発電など自然エネルギーの普及を事業パートナーと共に国内外で推進し、世界的視野で地球環境への貢献を目指しています。

私たちは情報革命を牽引する立場として、技術革

新を推進しながら、世界中の人々が豊かに暮らせる社会を実現するため、新しいサービスやプラットフォームを提供していきたいと考えています。これからも「ソフトバンクグループ CSR 基本方針」である「健全なインターネット社会」「夢と志を持つ次世代」

◆誕生日プレゼント

ホオズキが贈られました



左から芳賀潔さん(7月21日生)、佐藤光代さん(7月18日生)、松崎總一郎さん(7月21日生)、田子英彦さん(7月23日生)里見副代表

■ 「シンギュラリティ!世の中は激変する」

「地球の未来」「復興支援」というテーマの下、事業を通じて社会課題の解決に取り組んでまいります。

〔孫 正義〕



講 師 ソフトバンク(株)人事総務部 CSR 総括部総括部長
公益社団法人東日本復興支援財団事務局長
池田 昌人氏

シンギュラリティというのは、特異点という意味です。ここで取り上げるシンギュラリティは、技術的特異点です。コンピュータ技術や生命科学などの進歩、発展によって、2045年頃に技術的な特異点が生じ、これまでの世界とはまったく異なる世界がやってくる、と予測されているのです。この2045年問題はまるで、SF映画の世界のように、現実の世界が想像を絶する変化を遂げるだろうと言われています。それが2045年問題です。

コンピュータが将棋のプロ棋士にすら勝つことがあるようになってきましたが、プログラムに定跡を覚えさせていたり、先読みさせたりしているだけで、人間が考えるように「コンピュータが考えている」わけではありません。

シンギュラリティは、人間社会のあり方や、人類の存在意義を否応なく根底からゆさぶる事に発展するでしょう。産業革命や情報革命をも超える革命になるでしょう。

シンギュラリティについて理解を深め、その上で、シンギュラリティを前提として、私たちの会社、業界はどのような影響を受けるのか、影響を軽減するためには何をしたらよいのか、あるいは、シンギュラリティを利用して会社や業界が発展するためには何をしたらよいのかを考えることが課題になるのではないかでしょう。

質問コーナー

- Q. これから先のメディアで仕事がなくなる職業が話題になっていますが我々大人が子どもに伝えることは?
- A. 私がこの世界観を感じながら、私の子どもに話していることは、自分でやると決めた事を自分で計

画し行動することの経験が大切であると言っています。“前に進める”というエネルギーは人間が持つ唯一のものだと思うからです。

Q. これまでの産業の中で、どんな職業が無くなるのか?

A. いわゆる統計学的に判断するような職業が、つまりコンピュータに取って代られる仕事がなくなると言われています。単純作業はロボット、知性の所はAI（人工知能）

Q. ソフトバンクの情報量をどのように入手されていますか?

A. やはり、人からの情報も多く、ソフトバンクの中の情報といつても皆様と同じくらいの情報量で株主総会で発表されて初めて知ることもあります。

Q. これから先、我々がどのような視点でやっていったらいいのか?

A. インターネットの世界は距離と時間を超えますので、新聞や報道で知る情報は最低限知っておく必要がありまし、IT関連の技術革新についても勿論のことです。

インターネットの情報は伝達の速度、量が拡大することによって“できること”がどんどん変化して行きます。この技術はどんどんステップアップしています。今日お話しした超高速化されるもの、それを下支えするインフラも我々のような事業会社が支えることになります。

Q. 便利になればなる程、東京と地方との距離の差はなくなるのか?

A. なくなるとは思いますが、最後は人と人との関係なのです。ですから、全てなくなるとは思わない。人間が持つ根幹のものは変わらないと思います。

講師プロフィール

池田 昌人 (いけだ まさと)

生年月日：1974 / 7 / 12

最終学歴：法政大学 経営学部

ソフトバンク株式会社 CSR 総括部 総括部長

公益財団法人東日本大震災復興支援財団 事務局長

東日本大震災を機に、企業ができる継続的な社会貢献事業を推進しようと、2011年マーケティング部門からCSR部門に異動し、公益財団法人東日本大震災復興支援財団に兼務。

現在はソフトバンクのCSR 総括部の責任者、公益財団法人東日本大震災復興支援財団の事務局長として、事業を通じた社会課題の解決に取り組んでいる。



新入会員紹介



久家文寿
く げ ふみ とし
株式会社 東邦銀行 常務取締役
業種／金融業
会社所在地 〒970-8026
いわき市平字三町目 9-3
趣味／ゴルフ

7月グループ会報告

第1グループ会

■日 時 7月24日(月曜日)18:30~
■場 所 建設会館3階 会議室

講師 三井住友海上火災保険(株)福島支店いわき支社長
中山 壮士郎 様

内容 「サイバー攻撃に関する基礎知識と防御策について」
*これから企業が注意しなくてはいけない個人情報や機密情報の漏えい対策などをわかりやすく講義して頂いた。
*リスクと保険契約状況のチェックシートを使って現状を見直す機会も必要を感じた。

*三井住友海上火災保険(株)経営サポートセンター
「経営革新等支援機関」として認定された機関を各々の企業で活用して、今後の経営に役立て研修等も行っていきたいと思いました。

三井住友海上火災保険(株)福島支店いわき支社長代理
林 直樹様にも講師をして頂きました。



第2グループ会

■日 時 7月19日(火曜日)18:30~
■場 所 生涯学習プラザ

第3回グループ会開催：IRの現状と今後の活動
講師 ソフトバンク株 人事総務統括 C S R 統括部 統括部長 池田 昌人

目的の実現と成果
シンギュラリティ (Singularity) 技術的特異点は近未来(2045年?)に訪れる人口動態の変化。スマートフォンの登場によりAIなどIT技術の急激な発展。これらが化学反応し、第4次産業革命が起こる。また、何より変化のスピードが想像以上である。これから起こりうるこれらの事態をどこまで理解できたか、充分ではなかったかも知れない。しかし、自分たちには全く関係ない事ではなく、認識しなければならないことは理解できた。

我々は、まちづくり、人づくり、そして企業経営の戦略を考え行動する上で、これから起こる世の中の変化を的確に把握し対応しなければ、方向性を誤る可能性を知ることができた。

実施事業内容
講師の自己紹介（ボーダフォン入社後ソフトバンクへ 東日本復興財団 事務局長を兼務）
ソフトバンクグループ紹介 ビジョン「情報革命で人々を幸せに」

*AIなどのIT革命は世界中の人々を幸せにするためである
その為に 事を成す 大きな志をもって
急激なIT革命は避けられない現実であり、世の中が再定義される。これらを充分に認識し人間としてどう考え、行動すべきか?決断するのは最終的には「人間」である。

人口減少、少子高齢化、そしてIT革命が世の中を大きく変えることは、やはり避けられない事実である。そして変化のスピードは想像を超えて、急激に進む。
このことを、我々は深く認識し、情報を常に収集し、次代への準備を心がけをする必要がある。
その為にも、今後更なる勉強会を重ねることが重要であると考える。

第3グループ会

■日 時 7月10日(月曜日)
 ■場 所 東京ドーム

「遠征プロ野球観戦」

今日は遠征プロ野球観戦ということで、東京ドームに行って参りました。今年は数少ない東京ドームでのジャイアンツ戦ということもあり、月曜日の観戦でした。

我々ジャイアンツファンとしては勝利を期待して応援に望み、先制されましたが見事逆転勝利で東京ドームは大いに盛り上りました。我々一同も東京の夜に盛り上りました。



第4グループ会

■日 時 7月22日(土曜日) 8:00 ~
 ■場 所 福島県～茨城県ひたち大子町

第4回（7月度）

移動グループ会：茨城県県ひたち大子町方面の文化財を訪ねる。

1) 伊奈養鶏場を訪問し、斎藤社長、波多野専務のご案内で養鶏業について研修をする。伊奈養鶏場は標高650mの高さに有り近隣35km以内に同業者が無くまた大きな水辺も無いので鳥インフルエンザにかかるリスクが少ないと環境ある。養鶏数は約40万羽で、ひなは別棟にて安全に管理している。

2) 月待ちの滝は久慈川の支流 大生瀬川が作り出す落差17m 巾12mの三筋に流れ落ちる滝。別名「裏見の滝」とも言われ水に濡れること無く滝の裏側に行けます。豊富なマイナスイオンに癒されました。

3) ゆばの里 豆仙にて昼食。豆仙は自社工場にて「湯葉と豆腐」を製造している所で、出来たての汲出し豆腐は食べ放題です。美味しく頂きました。

4) 奥久慈茶の里公園和紙人形美術館・山岡 草常設展

彼の作品は、手すき和紙を草木染めし、それを渾身の力でひねり、絞り、縛る技法により生み出され「日本の神々」はとても和紙で作られたとは思えないような作品。

5) 奥久慈は、日本最北端の茶畠があり昔ながらのお茶づくりにかかせない「手もみ」茶は深い香りと味わいが楽しめるお茶で、全国手もみ茶品評会で日本一を多く受賞したお茶です。

6) 国指定史跡の西山荘御殿に行きましたが、残念ながら時間切れにて入園出来ませんでした。西山荘御殿は、元禄3年（1690年）水戸藩2代藩主徳川光圀公自らが始められた「大日本史編纂事業」に生涯を捧げべく西山御殿に移り棲まれました。



9月例会開催

9月11日(月)

9月例会は、国の重要文化財であり浜通り南部でも最大級の神社であります飯野八幡宮の宮司 飯野光世様をお招きし、飯野八幡宮を通して「いわきにおける歴史と文化並びに文化財の歴史」を学んでいきたいと思います。是非、多くの会員の方々にご出席を頂くことを願っております。

会 場 飯野八幡宮会館 TEL 21-2444

18:00 ~ 会食

講 師 飯野八幡宮 宮司 飯野 光世 様

18:20 ~ 例会

会 費 1,000円 (例会前にお食事(お弁当)を必要とする方)

18:30 ~ 講演

いわき経済同友会
ご入会のお薦め

いわき市内の企業経営者ならどなたでも入会できます

●会の趣旨に賛同される方は会員の推薦と所定の手続きによりどなたでも参加できます。
お問い合わせは下記へどうぞ。ご入会を心からお待ちしております。

事務局 〒970-8026 いわき市平字童子町4番地-18 いわき建設会館4F TEL 0246-23-1200 FAX 0246-23-1211 http://www.seaiwaki.jp E-mail:doyukai@triton.ocn.ne.jp	発 行 いわき経済同友会 安島 浩代表幹事 編 集 情報委員会 委員長 坂本和久 副委員長／川崎憲正・田村慎太郎・四ツ倉隆裕 常葉修一・山崎勇一郎
--	--